



# はたらくネット

仙台市障害者就労支援センターでは、障害のある方の就労が促進されるように「障害のある方」「企業」「障害のある方の就労支援をしている方」の支援に特に力を入れて、様々な取り組みを行っております。

「障害のある方の就労」に対して、多くの方に興味関心を持っていただき、「障害のある方を受け入れる企業の立場」「障害のある方の支援をする立場」等様々な人たちが「障害のある方の就労」に関することで、社会参加の場が広がっていくことを知っていただく機会を大切にしています。



所長あいさつ

仙台市障害者就労支援センター 所長 小野寺 修一

仙台市障害者就労支援センターは、障害のある方の就労についての相談や就労支援機関・労働関係機関等と連携を図りながら、障害のある方の雇用促進に取り組んでいます。

また、企業に対する障害者雇用の周知活動や職場・職域の開拓、障害のある方が安心して仕事が続けられるように職場定着支援など企業に対する支援を行っています。

「誰もが互いに尊重し、支え合いながら、生きがいを持って、自立した生活を送ることができるまち・仙台の実現」に向かって、私たちが職員一同「障害のある方と企業のかげはし」を合言葉にこれからも頑張っていきます。

## ◆もくじ◆

企業に聞きました「鈴木工業株式会社」	➡ 2ページ
はたらくみなさんに聞きました「鈴木工業株式会社」・あなたにとって「はたらく」とは？	➡ 3ページ
クローズアップおっきな輪「はあとぼーと仙台（仙台市精神保健福祉総合センター）」	➡ 4・5ページ
仙台市障害者就労支援センターの取り組みのご紹介	➡ 6ページ
実施報告・就職者のご紹介	➡ 7ページ
仙台市障害者就労支援センター利用案内	➡ 8ページ

# きぎょう き 企業に聞きました！

すずきこうぎょうかぶしがいしゃ  
鈴木工業株式会社



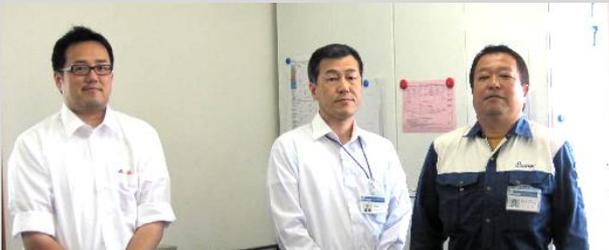
## 《鈴木工業株式会社》

設立：昭和41年  
本社：みやぎけんせんだいし  
宮城県仙台市  
従業員数：79名  
業務内容：廃棄物処理及びリサイクル

上水下水施設、設備のメンテナンス  
エコロジー商品の販売  
環境対策のコンサルタント及び研究開発  
一般建設業(般-11)第15767号  
焼却解体・設置、土壌汚染調査  
古紙発泡成形エコマテリアル(パルフォーム)の開発・販売  
事業所：エコミュージアム21(産業廃棄物処分 中間処理施設)  
再生館(リサイクルセンター)  
ISO取得：ISO9001認証取得 / ISO14001認証取得

すずきこうぎょうかぶしがいしゃ 総務部長 佐藤正弘様  
鈴木工業株式会社総務部長 佐藤正弘様に障  
害のある方(Aさん)の雇用のいきさつや雇用後  
のお話を伺いました。(取材日:平成26年6月)

### ◆鈴木工業株式会社で働くみなさん



左から、システム担当:武田さん・総務部長:佐藤さん・エコミ  
ュージアム21館長:内海さん

### ➤ 障害のある方を雇用するきっかけは？

会社として平成14年頃から障害のある方に関わりたいたと考えていました。その後、京都の障害者施設を見学する機会があり、当社と同じような作業をしていることを知り、会社の中でも環境を整えれば障害のある方ができる作業があるのではないかと感じました。平成24年1月に伝票入力作業(月千枚程度)を障害のある方にお願しようと思ひ、仙台市障害者就労支援センターに相談したところAさんを紹介されました。まずは精神障害者社会適応訓練事業(※①)を通して訓練してもらうところからスタートし、その後採用という運びになりました。また、Aさんは元々パソコン作業が得意でしたが、イラストを描くことにも優れているので、会社のパンフレットや当社で発行している季刊誌(かわら版)にもAさんが制作したイラストをのせています。

### ➤ 雇用にあたっての環境整備は何かされていますか？

折を見て本人に声掛けをすることで、「体調を崩していないか?」「ストレスを感じていないか?」など体調や気持ちに変化がないか把握するようにしています。また、勤務時間については本人の体調に合わせて、勤務日・勤務時間等の調整を臨機応変に行っております。現在は週2日の勤務ですが、週5日働けるようになることが本人・会社の共通の目標です。

### ➤ 障害のある方を雇用して良かったことはありますか？

今後の雇用を踏まえ今では何か業務があるたびに「障害のある方にお願ひできることはないか?」と考えるようになりました。また、Aさんへの声掛けを通して他の社員同士の会話の中にも「優しさ」や「気遣い」がより感じられるようになりました。Aさんがいてくれることで職場全体に良い影響を与えていると思ひます。

## ■ 一言メッセージ ■

### ～就職を目指す方へ～

得意なことを何か一つ見つけ、それを磨き伸ばしていくと、会社の戦力になります。周りの評価がみなさんのやる気につながると思ひますので、ぜひ得意なことを見つけ育てていってください。

### ～企業の方へ～

会社の中の業務を見直すと障害のある方にお願ひできる仕事があるのではないのでしょうか。我々が思っている以上に障害のある方は仕事ができます。勤務時間等を臨機応変に対応するなどの配慮があれば、障害者雇用は十分に実現できると思ひます。

### ～就労を支援している方へ～

一般企業にとって障害者雇用は未知の世界なので、企業に対して上手にPRしてください。障害者施設で作成している「ふれあい製品」などもパンフレットやメニュー表などを作り、PRすると取引先も増え、雇用にもつながるのではないのでしょうか?



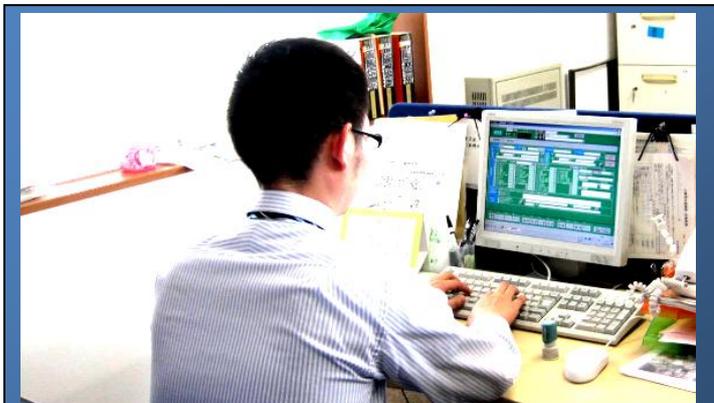
2・3ページに  
にせている  
イラストは  
すべてA  
さんが  
デザイン  
したも  
のです。



# はたらくみなさんに聞きました！

鈴木工業株式会社ではたらくAさん(精神障害)にお話を伺いました。(取材日 平成26年6月)

※今回はご本人のご希望により、お名前とお顔を伏せております。



◆写真は伝票の入力作業の様子。仕事の姿もしっかりさまになっていますね。

## ◆これからの目標は？◆

- ・休まず通うことです。
- ・イラストを描くことが好きなので、将来そのような仕事も経験してみたいです。

➤ **就職するまではどんな活動をしていましたか？**  
就労継続支援B型事業所(※②)に通いながら、一般企業への就職を目指していました。パソコンを使った作業をしたいと思っていたので、事業所の職員に相談したところ、仙台市障害者就労支援センターを通じて鈴木工業を紹介され、精神障害者社会適応訓練事業(※①)を利用し、一年半の訓練をしました。その後採用となりました。

➤ **働いてよかったことは？**  
一般企業にスーツを着て通うので、気分も引き締め、仕事をしている気持ちが高まります。

➤ **働いてみて難しいことは？**  
分からない事は周りの人たちに聞くことができるので難しいと思うことはありません。なんでも聞くことができる環境で、社員のみなさんもやさしくていい人達です。本当にいい会社に巡り合えて良かったです。

### ※①精神障害者社会適応訓練事業

➤ 在宅の精神障害者の方が、一定の期間、協力事業所(職親のもと)に通い、作業を通して集中力や対人関係能力、環境適応能力等を養うことにより、一日も早く社会復帰されることを目的としています。

→お問合わせ先につきましては、8ページをご覧ください。

### ※②就労継続支援B型事業所

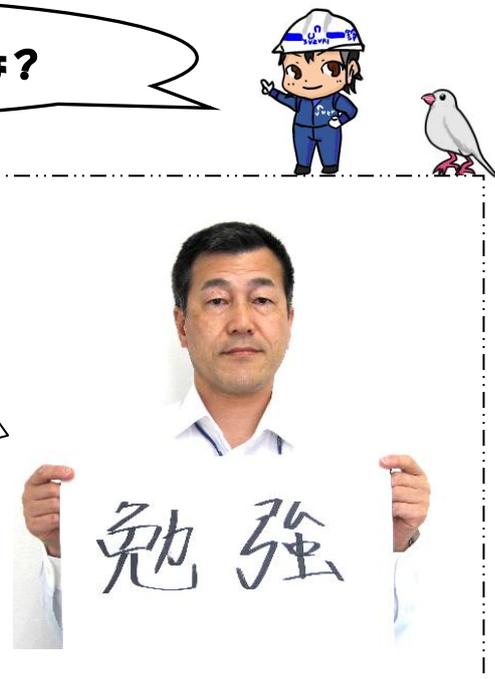
➤ 施設への通所により就労の機会を提供し、一般企業等での就労に向けた知識・能力向上を図ります。利用者には工賃を支払います。

## あなたにとって「はたらく」とは？

<障害のある方を雇用している企業の方>

### 《勉強》

鈴木工業株式会社総務部長 佐藤 正弘 様  
生きていく上での「術」です。何事もない日が無いくらい色々ありますが、その試練をこなしていく事が自分自身の糧になっていきます。



<働いている障害のある方>

# 生活の一部

### 《生活の一部》

鈴木工業株式会社 Aさん  
働くと言うことは、生活に欠かせないことです。生活の一部と考えるほど大切なことです。

# クローズアップ おつきな輪



## 仙台市精神保健福祉総合センター（愛称：はあとぽーと仙台）

仙台市障害者就労支援センターでは、障害のある方の就労支援をしている関係機関との連携を密に図り、就労を目指している障害のある方、または、現在働いている障害のある方の支援を行っています。その一環として、機関誌で様々な関係機関の特色や取り組みの様子についてシリーズで紹介しています。

### ●仙台市精神保健福祉総合センター（以下はあとぽーと仙台）とは？

仙台市が設置している精神保健福祉の専門機関です。こころの悩みを抱えた方や精神障害のある方、ご家族、支援者の方々からご相談をお受けしているほか、こころの健康づくりや普及啓発など、精神保健福祉に関するさまざまな事業を行っています。

今回は様々な取り組みをされているはあとぽーと仙台の担当者の方々にお話を伺いました。

#### 今回は2名の方にお話を伺いました！

主幹兼デイケア係長：伊藤 真理子さん デイケア係：佐々木 恭子さん

### Q1. はあとぽーと仙台の事業内容について教えてください。

A1. はあとぽーと仙台では、精神保健福祉相談・自殺対策・震災後の心のケア・普及啓発等を行っており、精神科デイケアも事業として展開しております。支援対象は当事者本人だけでなく、ご家族・支援者等に対しても支援を行っています。普及啓発の面では、市民や関係機関向け講座のほか、企業向けにもメンタルヘルスやストレス対策・自殺予防等に関する啓発活動を行っています。特に企業に対しては、メンタルヘルスに課題を抱えている働き盛りの方が多くいらっしゃいますので、その面でのケアは重要と考えています。また、震災後の心のケア事業等も行っており、個別支援だけでなくメンタルヘルスの普及啓発等に関しても力を入れて活動しています。

### Q2. 独自の取り組みや特に力を入れている事業があれば教えてください。

A2. 精神科デイケアの活動には力を入れて取り組んでいます。デイケアには「就労支援・社会参加コース」と「リワーク準備コース」の二つのコースがあります。

「就労支援・社会参加コース」は定員50名で年齢15歳～45歳の方（若年層の方）を主な対象として活動しており、病気との付き合い方や回復に向けての認知行動療法を中心に活動しています。

「リワーク準備コース」は市内のデイケアでは唯一、リワーク（復職）に取り組んでいます。仙台市在住のうつ病・うつ状態の方で仕事を休職中の方を対象としています。定員は10名と限られた範囲の中にはなりますが、それぞれの方が復職に向けて自身の病気への対処法を学んだり、体力づくりに励んだりしています。

デイケアの一日の流れ	
9:30	朝のミーティング
10:00	ラジオ体操
10:15	午前プログラム
12:00	昼食・休憩
13:00	午後プログラム1
14:00	午後プログラム2
15:00	帰りのミーティング
15:30	デイケア終了



デイケアの活動の一環として、屋外のコートでテニスをしたり、屋内で卓球をしたりして体力づくりに励んでいます。

### Q3. 相談に来られる方やデイケアの利用者の方との関わりで、気をつけている事はありますか？

A3. デイケアでは、皆さん目標を持って通っています。デイケアを卒業する時に、「最終的にどうなりたいか？」を明確に考えて頂き、周りに寄り添う支援者も、その目標や希望を大切にに関わっていくように心掛けています。

### Q4. 障害者就労支援機関との関わり方について教えてください。

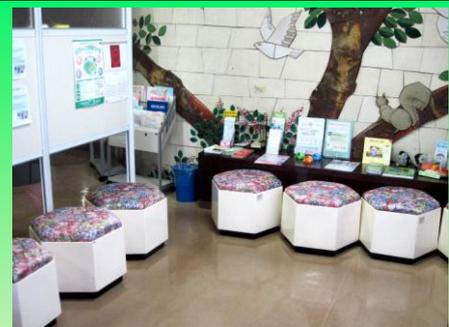
A4. デイケアの活動の一環で就労支援機関に見学へ行ったり、逆に「はあとぼーと」に来てもらってお互いを知る事などから関わりを始めています。その後の関わり方としては、ご本人がデイケアを卒業し、就労支援機関につなげても、すぐにその関係性を断ち切るのではなく、デイケアの通所中から、就労支援機関等に定着できるようにフォローしています。（目安としては3か月程度）。

精神疾患のある方は新しい環境になれるのに時間がかかる方が多いため、電話連絡や訪問を通し、定着の様子を見ながら徐々にフェードアウトするようにしています。



はあとぼーと仙台の外観写真です。  
青葉区荒巻三居沢に位置しており、すぐそばには広瀬川が流れています。

はあとぼーと仙台の中庭の写真です。  
建物の周りは緑に囲まれており、とてもどこかで、心も落ち着く雰囲気です。



はあとぼーと仙台の入り口付近にある待合室の写真です。フロアとは仕切りで区切られています。精神保健福祉等に関する様々な情報誌や案内が掲示されています。

### Q5. 就労を目指している方へメッセージをお願いします。

A5. 伊藤さん：これまでと異なる環境に身を置くということは、当初はそれなりのストレスを抱えることとなります。いざ困った時は相談できるようになると良いと思います。その相手は友人でもご家族でも支援者でも構いません。ただ、仕事の相談事は職場に相談できるようになることが一番です。コミュニケーション面に関しては、自分からも積極的に図らなければなりません。自分から職場に対して、自分の事をわかってもらうように働きかけないと、理解はしてもらいにくいと思います。とにかく肉体的にも精神的にも疲れをためないように過ごして欲しいなと思います。

佐々木さん：就職する事がゴールとなるのではなく、いかにその場に定着できるかが大切です。「就職する」ということは「新たな環境や人間関係になる」ということ。短距離走ではなく、マラソンのように長く走れるようになると良いですね。

### Q6. 障害のある方の雇用を目指している企業にメッセージをお願いします。

A6. 精神疾患のある方でも、失敗を恐れずに受け入れてもらえればと思います。やってみないと分からないことも多いですし、雇用に関してもやってみないと始まらないと思います。

受け入れた際には、特別視することなく、他の社員と同じように・平等に接して頂ければと思います。それが当事者本人にとっても一番良い対応方法だと思います。また、何か仕事を頼む時には事前にきちんとした説明をしてもらえば、不安を感じることなく指示に応じて作業することができる方が多いです。

他にも、少しでも何か気になる事があれば、適宜声を掛けてもらえると助かります。言いたい事があっても自分から言い出せない方も多く、コミュニケーション（人間関係）のことを気にされる方が多いです。同僚の方から声を掛けられて嫌だと言う人はいません。とにかく他の社員と同じように接してもらう事が一番の理想だと思います。

仙台市精神保健福祉総合センター（はあとぼーと仙台）

〒980-0845 仙台市青葉区荒巻字三居沢1-6

TEL：022-265-2191 FAX：022-265-2190

ホームページ：http://www.city.sendai.jp/kenkou/seishinhoken/heartport

# 仙台いししょうがいしゃしゅうろうしえん 仙台市障害者就労支援センターの取り組みのご紹介

## はたら しょうがい かた む せつ めい かい 働きたい障害のある方向け説明会

「働きたい!」という希望をお持ちの障害のある方向けに、仙台市障害者就労支援センターでは定期的にセンター利用に関する説明、就労準備に関する情報提供を行っています。

### 「働きたい障害のある方向け説明会」の実施について

- 開催日：主に毎月第2・第4水曜日、移動相談時
- 場所：仙台市障害者就労支援センター他(※開催時間・場所については、お問い合わせ下さい)
- 対象：仙台市内にお住まいの15歳以上の障害のある方、ご家族、支援者  
 (※障害者手帳をお持ちでない方も参加可能です)
- 主な内容：
  - ・仙台市障害者就労支援センターのサービス内容の説明
  - ・就労に向けての訓練等に関する情報提供・質疑応答 など
- 定員：10名程度
- 参加費：無料
- 申し込み：仙台市障害者就労支援センターに電話・Eメールにて申し込み  
 (※予約制となりますので、事前に申し込みが必要です)

### ◆企業見学会・企業実習◆

企業の職場見学・実習を随時開催しています。

求職中の方	企業等実際の職場で働く体験を通して、基本的な労働習慣や業務、環境面の適性等について考える機会となります。
企業の方	職場の雰囲気や仕事の内容を知ってもらう機会になります。また、直接求職者と接し仕事をしてもらうことで、障害のある方の受け入れに際しての準備・体制面等確認ができ、雇用イメージを掴むことができます。
支援者の方	支援対象者の評価や今後の支援に向けての課題等が確認できる機会となります。

### ◆就職活動サポート講座・雇用サポート講座◆

ご希望に合わせた講座を随時開催しています。

就職活動サポート講座 (障害のある方・支援者向け)	支援者と共に就職支援に関わる講座を行い、より効果的な就労支援を行うことができます。 (例：「働く前に必要な準備とは？」等)
雇用サポート講座 (企業の方向け)	障害のある方を雇用するための準備として、職場の受け入れ体制や支援機関の活用等について理解を深めることができます。(例：「雇用する障害のある方の障害特性についての勉強会」等)

### ◆連絡会議◆

就労支援に携わる関係機関および企業の雇用に関する現状の課題等を共有し、相互の連携による効果的・効率的な就労支援体制の構築とネットワークの強化を目指すことを目的とし、各種連絡会議を開催します。

就労移行支援事業所等連絡会議	年4回 開催予定	就労先・実習先等に対する企業支援や定着支援を含む就労支援技術向上を主な目的とし、事業所間の情報共有等も行います。
就労支援連絡会議 (各障害種別で開催予定)	年5回 開催予定	各障害の特性を理解し、就労支援の方法や企業の雇用事例等を共有し、雇用促進に向けて学び合います。

◎各お問い合わせ先につきましては、8ページをご覧ください。

# じっ し ほう こく 実施報告

## ◆企業見学・企業実習◆

様々な企業の職場を見学・実習し、自分に合った仕事を探します。

	企業見学			企業実習		
	実施数	参加者	業種	実施数	参加者	業種
3月	2社	2名	福祉機器レンタル業、学校法人	—	—	—
4月	2社	2名	衣類製造業、清掃及び軽作業	1社	1名	衣類製造業
	2社	13名	(支援者向け見学会として実施) ホテル業、医用電子機器開発業			
5月	5社	18名	労働者派遣業、クリーニング業、 冠婚葬祭業、清掃及び軽作業、 生命保険業	—	—	—

## ◆就職活動サポート講座(求職者・事業所向け)

希望に合わせた講座を開催しています。

	対象	参加者	内容
3月	地域活動推進センター	11名	「はたらく現場の見学」とし、障害のある方が働いている自動車販売会社への見学を行いました。参加者は事前にホームページ等で調べた情報と見学会に参加して得た情報を照らし合わせた質問をし、積極的な姿勢が伺えました。
4月	精神科デイケア	8名	「仙台市障害者就労支援センターのご紹介」をテーマに講座を行いました。当センターの支援内容や支援事例等について真剣に聞く参加者の姿が印象的でした。

## ◆働きたい障害のある方向け説明会◆

仙台市障害者就労支援センターのサービス内容や就労に関する情報提供を行っています。

実施日	参加者	場所	実施日	参加者	場所
3月12日(水)	3名	仙台市障害者就労支援センター	4月23日(水)	6名	仙台市障害者就労支援センター
3月16日(日)	2名	仙台市泉社会福祉センター	4月26日(土)	9名	仙台市福祉プラザ
3月26日(水)	3名	仙台市障害者就労支援センター	5月14日(水)	5名	仙台市障害者就労支援センター
4月9日(水)	6名	仙台市障害者就労支援センター	5月24日(土)	5名	仙台市若林障害者福祉センター
			5月28日(水)	1名	仙台市障害者就労支援センター

## 各連絡会議の実施報告

### ●就労移行支援事業所等連絡会議(平成25年度実施)

回	日時	参加者	内容
第11回	3月7日(金)	23名	「平成25年度第2回企業・支援者交流会」として「雇用後の職場定着支援」をテーマとし、企業側と支援者側から二つの事例発表を頂き、後半は事例を踏まえてグループワークを行いました。
第12回	3月27日(木)	15名	「障害者就労移行支援事業所見学・プログラム体験会」及び「第2回企業・支援者交流会」についての振り返りと、来年度の各事業所の重点項目や方向性・取り組みについてグループ毎に話し合い、発表を行いました。

# しゅう しょく しゃ 就 職 者

※支援機関や企業と連携し、就労支援センターが企画した企業見学、実習、企業への委託訓練等を経て、求職活動を進め、就職が決定した方。

	就職者数	職種
3月	1名	ピッキング及び格納作業
4月	4名	PCシステム管理、ビル清掃、清掃及び軽作業、宅配便及びメール便の仕分け作業全般
5月	1名	衣類製造業

# 仙台市障害者就労支援センター利用案内

## ■ 利用時間:

	月曜日～金曜日	土・日・祝
窓口での相談	8:30～17:00	休み
電話相談・移動相談	8:30～19:30	8:30～17:00

※ 土日祝日は各区にある障害者福祉センターなどにおいて「移動相談窓口」を設けます。

※ 移動相談の日程は、市政だより・当センターホームページに掲載しています。

※ 12月29日～1月3日はお休みとなります。

## ■ 相談方法: 来所・電話・FAX・Eメールにて受け付けております。

※ 来所は原則として予約制です。事前にセンターまで希望日時をお知らせください。

こんな相談をお受けしています。



### 〈障害のある方〉

- 働きたいのですが、何をどうしたらいいかわかりません。
- 仕事はどうやって探したらいいですか？
- 仕事を辞めてしまって、どうしたらいいかわかりません。
- 仕事がうまくできなくて困っています。

### 〈企業・事業所の方〉

- 障害のある方を雇用しようと思うのですが、どんな配慮が必要ですか？
- 障害のある方を雇用する際に利用できる制度はありますか？
- 障害のある方の雇用を続けるための工夫や環境整備の仕方を教えてください。

## ■ 費用: 相談・支援サービスは無料です。

※ 実習等にかかる交通費、食事代等は実費負担があります。

## ■ 対象となる方: 仙台市にお住まいの15歳以上の障害のある方で就労希望、もしくは就労中の方。

※ ご家族・事業主様からの相談もお受けします。 ※ 障害者手帳の有無は問いません。

## ■ アクセス:

**地下鉄**  
泉中央駅で下車(仙台駅から15分)。徒歩約5分。

**バス**  
① 泉区役所・イズミティ21前で下車。徒歩約3分。  
② 泉中央駅北口で下車。徒歩約4分。

## 編集後記

当センターも新しい所長を迎えて心機一転。機関誌も無事第16号をお届けすることができました。「機関誌を見て電話しました。」等のお声をいただき職員の励みになっています。

これからも様々な就労に関する情報を提供できるよう職員一同努めてまいります。

発行: 仙台市障害者就労支援センター

(指定管理者: 社会福祉法人仙台市障害者福祉協会)

住所: 〒981-3133

仙台市泉区泉中央2丁目1-1

泉区役所東庁舎5階

電話: 022-772-5517

FAX: 022-772-5519

Eメール: info@sendai-wsc.jp

H P: http://www.sendai-wsc.jp/